

学内リサイタル講座 ジョイントリサイタル 第5公演

Armonia

～8輪のコスモスからの贈り物～

2022年9月28日(水)

開場 17:30 / 開演 18:00

会場：前田ホール

ご来場のお客様へご協力のお願い 次項につきまして下記のとおりにご了承くださるようお願いいたします。

1 新型コロナウイルス感染症対策につきまして

◎入場制限について(次に該当する方はご入場いただけません)

- ・37.5℃以上の発熱がある方、発熱が続いている方
- ・風邪の症状(発熱、咳、くしゃみ、喉の痛み等)がある方
- ・強いだるさ(全身倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方
- ・その他体調に不安がある方(味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節痛、下痢、吐き気等)
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触があり、行動制限中となっている方。
- ・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触があり、行動制限中となっている方。
- ※基礎疾患(糖尿病・心不全・呼吸器疾患等)がある方、妊娠中の方は、医師の判断や関係機関の情報を確認の上、慎重なご判断をお願いします。

◎ご入場に際し、以下の事項についてご協力をお願いします。

- ・上記「入場制限について」への同意
- ・感染者が発生した場合には、必要に応じてご来場者情報を保健所へ提供させていただく場合がございますので予めご了承ください。(提出いただいた個人情報(新型コロナウイルス感染の発生がなかったことを確認の上、演奏会約三か月後に適切に削除します。))
- ・マスク着用の徹底(不織布マスクを推奨、鼻にフィットさせ正しく着用のごこと)やソーシャルディスタンスの確保などエチケットの厳守をお願いします。
- ・楽屋面会、花束やプレゼントの持ち込みはお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしていただきますようお願いいたします。

◎車いすでご来場のお客様へ

車いすでご来場のお客様はチケット購入前に予めお問い合わせいただきますようお願いいたします。

2 公演収録に伴う一部のお客様の映り込みにつきまして

各公演では、映像収録および写真撮影用の機材が会場内に入り、ご来場のお客様の様子が映像・写真等に映りこむ場合がございます。収録された映像・写真等は、YouTubeやSNS、ウェブサイト、テレビ、印刷・出版物等において、大学案内等のプロモーションやその他の目的で使用される可能性がありますので、予めご了承下さい。

主催：洗足学園音楽大学・大学院

Program 曲目

1 横木 秀真 (Perc.)

石井 眞木 / サーティーン・ドラムス
—打楽器独奏の為の—

2 高木 美雨 (Tp.) Pf. 小松 祥子

H.トマジ / トランペット協奏曲
H. Tomasi // trumpet concerto

3 上條 里彩 (Cl.) Pf. 立石 智子

C.サン=サーンス / クラリネットソナタ
C. Saint-Saëns // Clarinet sonata Op.167

4 久米 愛海 (Sax.) Pf. 原田 愛

A. デザンクロ /
プレリュード、カデンツァとフィナーレ
A. Desenclos // Prélude, Cadence et Finale

～休憩～

5 石塚 紫音莉 (Sop.) Pf. 岡崎 渚紗

W. A. モーツァルト / モテット《踊れ、喜べ、幸いなる魂よ》
K. 165より“アレルヤ”

W. A. Mozart // Motette 《Exsultate, jubilate》 K. 165 “Alleluja”

W. A. モーツァルト / 歌劇《劇場支配人》 K. 486より
“すてきな若者よ！”

W. A. Mozart // 《Der Schauspieldirektor》 K. 486 “Bester Jüngling!”

W. A. モーツァルト / 歌劇《後宮からの誘拐》 K.384より
“何という幸せ、何という喜び！”

W. A. Mozart // 《Die Entführung aus dem Serail》 K. 384 “Welche Wonne, welche Lust”

6 石倉 雄太 (Euph.) Pf. 岡南 健

石倉雄太 / Broken Mirror

7 中川 彩 (Fl. / Picc.) Pf. 伊藤 響子

G. ショッカー / 後悔と決心 G. Schocker // Regrets and Resolutions

E. ダマレ / ロワトレ(ミソサザイ)〈ポルカ〉 E. Damare // Le Roitelet Polka

8 小嶋 みのり (Pf.)

C. ドビュッシー / 《前奏曲集》第2集より C. Debussy // Préludes 2

第4番 妖精は良い踊り子 No.4 Les fées sont d'exquises danseuses

第5番 ヒースの茂る荒地 No.5 Bruyères

第6番 風変わりなラヴィエヌ將軍 No.6 Général Lavine-eccentric

第12番 花火 No.12 Feux d'artifice

ご挨拶
Message

ご来場の皆様へ、今日は学内リサイタル講座ジョイントリサイタルへようこそ。本日演奏する学生は、この前田ホールで独奏を経験する事の出来る少ないチャンスを得られた48名の学生です。これまで4年間の研究生活で、切磋琢磨して磨き上げたその成果をお聴きいただき、これから日本そしてアジア、世界へ羽ばたこうとする若人へ拍手とマスクで声は出せませんが心の中から声援を送って下さい。

洗足学園音楽大学 教授 渡部 亨
教授 大和田 雅洋

今日は、リサイタル講座 第5グループによる「Armonia～8輪のコスモスからの贈り物～」にお越しくださいまして、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの猛威が続くなか、本日開催できることを大変嬉しく思っております。この度、演奏会を開催する運びとなりましたのは、ご指導・ご支援をしてくださっている先生方をはじめ、家族や友人、そして何より日頃から応援してくださっている皆さまのおかげです。心より深く、御礼申し上げます。

今回の演奏会は、それぞれコースや専攻が異なりますが、本公演ではコスモスの花言葉である「調和 (Armonia)」をテーマに、一人ひとりが一輪の花のように音を奏でるさまを皆様にお届けしたいと考えております。ここまでご支援くださった全ての方々へ、感謝の気持ちを込めて精一杯演奏いたします。どうぞ最後まで、ごゆっくりお楽しみください。

第5グループ インспекター 石倉 雄太

曲目解説
Program Note

石井 眞木 (1936-2003) / サーティーン・ドラムスー打楽器独奏の為の一

石井眞木は舞踊音楽に傾倒し、その後ベルリンに留学、12音技法を学ぶ。帰国後はガムラン等に影響を受け、東洋と西洋の音楽の架け橋とも言える作品を多数作曲した。この曲は1985年に読売日本交響楽団の元首席ティンパニストである菅原淳の為に書かれ、曲名に書かれているように太鼓の数、フレーズ、総ページ数など13にこだわっている。16分音符で進行しつつ次第にそれが崩されていき、終盤は肉体を駆使しつつ強引に演奏のエネルギーにすることにより、鬼気迫る様な凄まじさを持ち突然と曲は終わる。(横木 秀真)

H. Tomasi (1901-71) / trumpet concerto

この曲は、フランスの作曲家「アンリ・トマジ」により1949年に作曲された。トマジは1901年にマルセイユで生まれ、パリ音楽院で指揮法と作曲を学ぶ。彼の音楽の特徴は、印象派的な和声と、南欧らしい明るさと透明感のある旋律だ。1楽章「アレグロ」2楽章「ノクターン」3楽章「ファイナル」それぞれに心を魅了される旋律と、ミュート（弱音器）を使用して何度も印象が変わる様子、さらにトランペットとピアノによる打楽器要素を含むリズムの掛け合いがあり、トマジの音楽に浸っていただけたらと思う。(高木 美雨)

C. Saint-Saëns (1835-1921) / Clarinet sonata Op.167

C.サン＝サーンスはフランスを代表する作曲家、ピアニスト、オルガニスト、指揮者である。そして数多くの作品を残したことも有名であり、クラリネットソナタはそんな彼の最晩年に書いた木管楽器のためのソナタのひとつである。この曲は第4楽章から構成され、第1楽章で提示されるゆったりと牧歌的な印象的な主題から第2楽での軽やかなスケルツォ楽章。第3楽章でのクラリネット特有の低音域から高音域の対比の美しい響きから最終楽章で技巧的で快活なスケールから第1楽章での主題が完全な形で回想され静かに曲を閉じる。(上條 里沙)

A. Desenclos (1912-71) / Prélude, Cadence et Finale

A. デザンクロはフランスの作曲家。この作品は1956年にパリ音楽院卒業試験課題曲として作曲された。1964年、フランス政府から委嘱された「サクソフォーン四重奏曲」とともに、サクソフォーンの発展に大きな功績を残したマルセル・ミュールに献呈されている。

曲名の通り、「プレリュード」、「カデンツァ」、「フィナーレ」というシンプルに3つの部分からなるが、サクソフォーンにとって技巧的に難しい部分が多く、全編を通して緊張感に溢れた曲である。冒頭のピアノの1音からサクソフォーンの不安定で特徴的な音型の旋律が生まれ、発展していきながらピアノに引き継がれていく。神秘的で憧憬に満ちたサクソフォーンのカデンツァの後、ピアノによって激しいパッセージが演奏され、躍動的なリズムと落ち着いた佇まいの旋律が交互に現れ、曲は徐々にクライマックスへと向かう。(久米 愛海)

W. A. Mozart (1756-91) / Motette 《Exsultate, jubilate》 K. 165 “Alleluja”

1773年(17歳)、モーツァルト父子がミラノ訪問中にお気に入りのカストラート歌手 ヴェナンツェオ・ラウツィーニのために作曲。Allegro、Andante、Allegroの3楽章からなり、冒頭楽章がソナタ形式となっているため、声楽と管弦楽のための協奏曲のような構成になっている。冒頭楽章では「踊れ、喜べ、幸いなる魂よ」という歌詞がついていることから、この題でよく知られている。中でも終楽章の〈Alleluja〉は単独で歌われることが多い。「Alleluja」とは、ラテン語で「神を褒め称えよ」という意味。アレルヤの語源はヘブライ語のハレルヤで、「褒め称えよ」を意味するハレルにヤーウェ(神の名)を短縮したヤをつけたものがハレルヤとなる。ここから派生してギリシャ語やラテン語のアレルヤが生まれた。歌詞は「Alleluja」をひたすら繰り返すが、厳粛ながらも華やかで、抜けるような青空を想起させ、ソプラノの技巧的な歌いまわしも存分に楽しめる。今回はピアノ伴奏だが、中間部のオーボエとの掛け合いも聴きどころである。(石塚 紫音莉)

W. A. Mozart / 《Der Schauspieldirektor》 K. 486 “Bester Jüngling!”

1786年(30歳)、皇帝ヨーゼフ2世の依頼を受けわずか1ヶ月で作曲。モーツァルトの音楽劇の中では比較的後期の作品で、未完のオペラである。劇場支配人フランクは、ザルツブルクでの演劇の上演許可が下りたものの、劇場経費がかかりすぎてあまり儲からず、歌手のブッフに祝福されるが浮かぬ顔をしている。2人は団員の給料を安く抑え、新たに劇団を作ろうとする。そこへ何人もの歌手がオーディションを受けに来るが、給料を高くもらうことを要求し、団員内でギャラ争いが勃発。ギャラ争いに嫌気がさした劇場支配人のフランクは「こんなことになるなら劇団を作るのをやめる」と怒り、歌手たちはこれ以上の要求はしないと大団円となる。このアリアは劇場支配人フランクのもとヘドイツのオペラを上演すると聞きつけ、自分の歌を売り込みに来たマドモアゼル・ジルバークラングが「評判だけでなく実際にロンドを歌ってみますわ」と自信満々に歌う。(石塚 紫音莉)

W. A. Mozart / 《Die Entführung aus dem Serail》 K. 384 “Welche Wonne, welche Lust”

1782年(26歳)、皇帝ヨーゼフ2世の依頼を受け作曲。ドイツ語で歌われるモーツァルトのオペラとして《魔笛》に準ずる作品の1つで、1782年の初演からウィーンで大ヒットした。当時関心の高かったトルコを舞台とし、所々にトルコの軍楽の片鱗を見せる活気あふれる音楽が印象的である。このアリアは、コンスタンツェとともに海賊の手に落ち、太守セルムに売られたイギリス人の女中ブロンデが歌う。第2幕、ブロンデは恋人のペドリッコに会い、コンスタンツェの恋人ベルモンテが来て逃亡の用意をしていることを伝えられる。ブロンデはそのことに大喜びし、「何という幸せ、何という喜び!」と逃走できる喜びを華やかに、そして高らかに歌う。今回は邦題を《後宮からの誘拐》としたが、《後宮からの逃走》とも呼ばれる。(石塚 紫音莉)

石倉雄太 (1999-) / Broken Mirror

作曲するにあたって、この曲は鏡をテーマにした。曲名を「割れた(Broken)鏡(Mirror)」としたのは、通常の鏡の映し出す景色ではない、割れた鏡にしか映し出せない偶然の景色を音楽で表現しようと試みたからである。本来、割れていない通常の鏡は現実をそのままに反射させるが、割れた鏡は現実をそのままに反射させることができない。それは一見、鏡としての本来の機能を使えない「役立たず」と思ってしまうが、そこには万華鏡のように、人類が意図して作り出すことは困難なほどの美しい景色が存在する。そんな景色を歪(いびつ)な反射しかできない割れた鏡に求め続けてしまう様子を描いた。それは、現実を起こる正解のない争いや、どんなに叶えたい願いも、たとえ願い続けても叶わないこともある現実から目を背けたいという辛い願いも込められている。しかし、それは間違いであり、その美しい景色はあれほど憎んだ暗く悲しい現実から生み出されていることを知っていくだろう。この曲は、第1楽章: Vivace 変ホ短調 / 第2楽章: Andante calmo 変イ長調 / 第3楽章: Vivace 変ホ短調の3楽章で構成されている。(石倉 雄太)

G. Schocker (1959-) / Regrets and Resolutions

《後悔と決心》は、ゲイリー・ショッカー氏が20代の時に作曲された作品である。若い音楽家のために基金を創設して功績のあったモーティマー・レヴィット氏の80歳の誕生日のために作曲された。繊細で美しく流れるような旋律から始まり、突如現れる力強くリズム感溢れる音形に驚く方も多いのではないだろうか。雄大なメロディーと活力溢れるメロディーの対比をしっかりと表現したい。(中川 彩)

E. Damare (1840-1919) / Le Roitelet Polka

《ロワトレ(ミソサザイ)〈ポルカ〉》は、トレヴァー・ワイ氏編纂の曲集「ピッコロとピアノの為のアルバム1巻」の1曲目に収録されている曲である。「ミソサザイ」とは大きな美声で鳴く実際に存在する小鳥の名前であり、「ロワトレ」とはフランス語で「ミソサザイ」を意味する。〈ポルカ〉とは19世紀後半に流行した2/4拍子の活発な舞曲を表している。ピッコロの持ち味である高音をふんだんに使用した軽快で可愛らしい小鳥の鳴き声のような旋律が特徴の曲だ。(中川 彩)

C. Debussy (1862-1918) / Préludes 2 No.4. 5. 6. 12.

C. ドビュッシーの前奏曲は全2集24曲となっており、第1集は1910年、第2集は1913年に作曲されている。第2集は独創的な音楽的想像力と語法の革新性に満ちた内容であり、幻想的な雰囲気が溢れる作品となっている。また、実験的に全曲に3段譜が駆使されており、各曲にはモチーフがあると言われている。今回弾く4曲はそれぞれ、4番「蜘蛛の糸の上で踊る妖精の絵」5番「ヨーロッパ北部にある荒野」6番「アメリカの道化師、エドワード・ラヴィーヌ」12番「7月14日の革命記念日」となっている。(小嶋 みのり)

プロフィール
Profile



横木 秀真 *Syuma Yokoki* Perc.

神奈川県出身。神奈川県立荏田高等学校卒業。
現在、洗足学園音楽大学 打楽器コース4年
在学中。

12歳より吹奏楽部に入部し打楽器を始める。

第31回日本クラシック音楽コンクール全国大会打楽器部門
大学の部にて第3位を受賞。第1回洗足学園音楽大学打楽器
コンクールにて第3位を受賞。

これまでに打楽器を高田亮、山田徹の各氏に師事。



上條 里沙 *Risa Kamijo* Cl.

神奈川県出身。神奈川県立相原高等学校畜産
科学科卒業。
現在、洗足学園音楽大学音楽学部管楽器コ
ースクラリネット専攻4年在学中。12歳より
吹奏楽部にてクラリネットを始める。

第2回HAPPY CLARINET CONTEST 第5位受賞。

前田音楽奨励賞受賞。

クラリネットを田中正敏、室内楽を高橋勇美、星野均、大浦
綾子の各氏に師事。

アニメ「響け！ユーフォニアム」公式吹奏楽団プログレッシ
ブ！ウインド・オーケストラコアメンバー。



石塚 紫音莉 *Shiori Ishizuka* Sop.

東京都出身。洗足こども短期大学を首席で卒業
後、保育士を1年間経て編入学し、現在、洗足
学園音楽大学声楽コース4年在学中。

4歳より江東青少年少女合唱団に所属し、東京シ
ティ・フィル・ハーモニック管弦楽団、英国ロ
イヤルバレエ団など多数共演し、歌劇「道化師」

「夕鶴」、バレエ「くるみ割り人形」等に児童合唱として出演。
前田記念奨学生。第30回全日本ジュニアクラシック音楽コンク
ール声楽部門高校生の部全国大会第5位入賞。2022年度声楽コ
ース特別選抜生として、特別選抜生披露演奏会に出演。2023年
3月には学園オペラ《魔笛》にパパゲーナ役で出演を予定してい
る。これまでに声楽を細谷美直、飯田千夏の各氏に師事。



石倉 雄太 *Yuta Ishikura* Euph.

長野県出身。長野県小諸高等学校音楽科卒業。
同校の選抜者演奏会に出演。

現在、洗足学園音楽大学管楽器コースユーフォ
ニアム専攻4年在学中。第29回中部日本個人
重奏コンテスト本大会個人の部金賞（第1位）

中日新聞社賞、第22回大阪国際音楽コンクール管楽器部門金管
Age-U（大学生の部）において第2位を受賞。作曲においては、
第31回TIAA全日本作曲家コンクール室内楽部門にて審査員
賞を受賞。

これまでにユーフォニアムを沼山紘史、岩黒綾乃、作曲を増田
達斗の各氏に師事。アニメ「響け！ユーフォニアム」公式吹奏
楽団プログレッシブ！ウインド・オーケストラ コアメンバー。



久米 愛海 *Ami Kume* Sax.

茨城県出身。水戸女子高校卒業。

現在、洗足学園音楽大学管楽器コ
ースサクソフーン専攻4年在学中。

13歳より吹奏楽部に入部し、サク
ソフーンを始める。

サクソフーンを大城正司、中井侖の各氏に師
事。室内楽を江川良子、貝沼拓実、本堂誠の各氏
に師事。



中川 彩 *Aya Nakagawa* Fl./Picc.

熊本県出身。ルーテル学院高等学
校芸術コース（音楽専攻）卒業。
現在、洗足学園音楽大学管楽器コ
ースフルート専攻4年在学中。

9歳より吹奏楽部に入部しフル
ートを始める。14歳から18歳まで熊本ユースシンフ
ォニーオーケストラへ所属。高校卒業時に熊本県高
等学校文化連盟より文化功労賞を受賞。これまでに
フルートを大村友樹、山口邦子、梶原一紘、菅原潤
の各氏に師事。アニメ「響け！ユーフォニアム」公
式吹奏楽団プログレッシブ！ウインド・オーケスト
ラメンバー。



小嶋 みのり *Minori Kojima* Pf.

山梨県出身。伊藤学園甲斐清和高等
学校音楽科卒業。

現在、洗足学園音楽大学ピアノコ
ース アンサンブル・スタディクラス
4年在学中。

第13回さくら音楽コンクール最高位、2019年音の夢
ピアノコンクール連弾の部にて第1位を受賞。第21
回やまなし県民文化祭音楽祭に出演。学内より、第3
回ピアノコース学内コンクールにて入選、室内楽オー
ディション合格者による室内楽コンサート Vol.25 に
出演。現在、ピアノを長田美歩、清水将仁、アンサン
ブルを泉ゆりの、室内楽を浦壁信二の各氏に師事。



高木 美雨 *Miu Takaki* Tp.

福岡県出身。
精華女子高等学校卒業。

現在、洗足学園音楽大学管楽器コ
ーストランペット専攻4年在学中。

トランペットを鈴木徹平、佛坂咲
千生、中山隆崇、室内楽を渡辺功、古田俊博、古
田賢司、橋本晋也の各氏に師事。室内楽でカナデ
ィアンブラス、個人でホセ・リアル・シンテロの
マスタークラスを受講。アニメ「響け！ユーフォ
ニアム」公式吹奏楽団プログレッシブ！ウイン
ド・オーケストラコアメンバー。

W. A. モーツァルト / モテット《踊れ、喜べ、幸いなる魂よ》K. 165 より “アレルヤ”

W. A. Mozart // Motette 《Exsultate, jubilate》 K. 165 “Alleluja”

Alleluja

神を褒め称えよ

W. A. モーツァルト / 歌劇《劇場支配人》K. 486 より “すてきな若者よ！”

W. A. Mozart // 《Der Schauspieldirektor》K. 486 “Bester Jüngling!”

Bester Jüngling! mit Entzücken
Nehm' ich deine Liebe an;
Da in deinen holden Blicken
Ich mein Glück entdecken kann.
Nichts ist mir so werth und theuer
Als dein Herz und deine Hand;
Voll vom reinsten Liebes-Feuer
Geb' ich dir mein Herz zum Pfand.
Aber, ach! wenn düstres Leiden
Unsrer Liebe folgen soll,
Lohnen diess der Liebe Freuden?
Jüngling das bedenke wohl!

すてきな若者よ！喜んで
私はあなたの愛をお受けしましょう。
あなたの優しい眼差しの中に
私は自分の幸せを見つけることができるだから。
何も私には貴重なものはないわ
あなたの心とあなたの手以上には
清らかな愛の炎に満たされて
私はこの心を証としてあなたにあげましょう。
だけど、ああ！つらい苦しみが
私たちの愛に付きまとうなら
あなたは友人を愛して返済する？
お若い方、それを良く考えてね！

W. A. モーツァルト / 歌劇《後宮からの誘拐》K.384 より “何という幸せ、何という喜び！”

W. A. Mozart // 《Die Entführung aus dem Serail》K. 384 “Welche Wonne, welche Lust

Welche Wonne, welche Lust
Herrscht nunmehr in meiner Brust!
Ohne Aufschub will ich springen
Und ihr gleich die Nachricht bringen;
Und mit Lachen und mit Scherzen
Ihrem schwachen, feigen Herzen
Freud and Jubel prophezeihn.

何という幸せが、何という喜びが
満ち溢れるんでしょう、あたしの胸の中には！
ぐずぐずせずにすっ飛んで
お嬢さまにメッセージをお伝えしましょう。
笑顔で冗談混じりにね
あの方の弱った臆病な心に
幸せと歓喜を差し上げましょう。